

公表日

2026年 1月 31日

事業所名

こぼんはうさくら 姫路車崎教室

保護者等数(児童数) 22名

回収数 20件(割合91%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4		1	・適切な広さである。	・整理整頓を行い少しでもスペース確保ができるように努力してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1	・人数的には十分である。	・児童の人数に対して50%の職員を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		1	・おもちゃが少ないので学習に集中できる。	・児童にとって分かりやすく構造化された空間を提供できるように努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1			・空間が良い。	・今後も安心して過ごせる空間を提供できるように努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			・個別の時間があり特性に合った支援をしている。 ・専門職が配置され安心。	・今後も専門性を高め、より安心してご利用いただける支援ができるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				・適切なプログラムである。	・今後も支援プログラムについてわかりやすく周知してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・作成されている。少しずつ課題を達成している。	・今後もアセスメントや面談を大切にしニーズに沿った個別支援計画の作成を継続してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		1	・具体的に設定されている。	・「放課後等デイサービスの提供すべき支援」についてより分かりやすくお伝えできるように努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1			・行なわれている。	・日々の支援と個別支援計画とのつながりを意識し支援内容が分かりやすく伝わるように努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1	・とても工夫している。 ・工夫されているので楽しく通えている。	・引き続き曜日や週でプログラムが重ならないように工夫してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	4	7	・機会がない。	・地域の催しなどへの参加を検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				・説明があった。	・引き続きわかりやすい説明を行いご理解いただけるように努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				・詳しい説明があった。	・引き続きわかりやすい説明を行いご理解いただけるように努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	4	4	・行われていない。	・今後家族支援プログラム等の機会を設けられるように努力してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1			・共通理解ができている。	・HUGや面談の機会を活用し日々の情報共有を行ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	1		・定期的に支援が行われている。	・定期的な面談を半年に一度行っておりませんが、ご要望に応じて面談を行います。安心して話していただける体制づくりを継続してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			1	・言葉は出ないが迎が来ると楽しそうに行っている。	・児童や保護者の気持ちに寄り添った支援を行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	6	4		・今後保護者会の開催やきょうだい同士の交流ができる機会を設けられるように検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		1	・対応している。	・日頃から保護者との関りを絶やさず些細なことでも相談できる関係性が築けるように努力してまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1	・配慮している。	・面談や送迎時等を活用し情報の行き違いが生じないように配慮してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				・発信されている。	・今後もHP・SNSで活動内容を発信し、発信していることを周知していただけるよう丁寧に説明してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				2	・個人情報は漏れていないと考えられる。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		2	・不明である。	・各種マニュアルを策定し必要に応じて訓練を行っております。マニュアルの内容や訓練実施状況についてわかりやすく説明できるように努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1	・防災訓練を行っている	・訓練が定期的に行われていることがご理解いただけるよう分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1	・怪我をしないように支援を行っている。	・安全確保のための対応について保護者にわかりやすくお伝えするとともに、引き続き安全な支援の提供に努めてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		1	・携帯に連絡があり説明がある。	・事故や怪我が発生した際には速やかに保護者へ連絡対応を行うことを心がけています。事故防止に徹底してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			・安心して通所しています。	・児童がより安心して通所できるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19			1	・週1～2回利用ですが、毎回行くのを楽しみにしている。	・児童が楽しんで通所できるよう引き続き努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			・満足している。	・支援内容や関わりについて丁寧に振り返りを行い、より満足していただける支援の提供に努めてまいります

公表日

2026年 1月 31日

事業所名

こぼんはうすさくら姫路車崎教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	3	・活動内容や利用人数に応じて机や物の配置を工夫し安全に配慮した空間づくりを行っている。	・活動内容や利用人数が多い時は手狭に感じられる場面があるため今後も活動の分散や環境設定の工夫を行い過ごしやすい環境づくりに努める必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	・児童の特性や活動内容に応じて役割分担を行い支援に取り組んでいる。	・児童の行動や活動内容によっては一時的に支援が立て込む場面があるため職員間の連携や動き方に工夫が必要である。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	・視覚的な提示をや空間の使い方を工夫し過ごしやすい環境づくりに努めている。	・今後も職員間で意見を共有しながらより安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	・児童が痙攣やパニックを起こした場合別室を使用し対応している。	・来客対応時に別室を使用するため児童の痙攣対応時に使用できない時がある
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2	・業務改善に向けて日々の振り返りを通じて意見を共有し改善に取り組んでいる	・今後はより多くの職員が参画できるよう意見を出しやすい機会や共有方法の工夫が必要である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・保護者向け評価表の結果を確認し日々の支援や業務の見直しに活かしている。	・評価表の結果や改善点を職員間で共有し業務改善につなげていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	10	・現在第三者による外部評価は実施していないが保護者からの意見をもとに、日々の振り返りやMTGを通じて支援方法等の見直しを行っている。	・支援内容の振り返りを迅速に行い業務改善につなげていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	・活動プログラムについては意見を出し合いながら検討する機会を設けている	・意見を出しやすい雰囲気づくりや役割分担の明確化など職員全体で参画しやすい工夫が必要である。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	・可能な範囲で振り返りや情報共有を行い気づいた点を次の支援に活かしている。	・短時間での共有方法や記録を活用した振り返りの工夫が必要である

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	12			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2	・必要に応じて医療機関や相談支援員、学校等の関係機関と情報共有を行い体制を整えている。	・今後は連携内容や支援経過について職員間での情報共有を行い理解を深めていく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	1	・必要に応じて学校との情報共有や連絡調整を行い児童の支援に活かしている。	・職員間で共有する仕組みを整える必要がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3		・職員会議や記録等を通じて全職員に共有し事業所全体で相互理解を深める必要がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	4		・保護者からの要望に応じて対応していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	9		・機会があった場合は積極的に参加できるように努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	11		・機会があった場合は積極的に参加できるように努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	9		・機会があった場合は積極的に参加できるように努める。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	1	・HUGや面談の機会を活用し日々の情報共有を行っている。	・児童の様子や支援内容について分かりやすい伝達を心がけ共通理解を深めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	11		・保護者会などの意見交換の場を検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8		・保護者に要望を募り、必要であれば開催する機会を設けられるように努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	8		・安全面を踏まえながら適切な在り方を検討していく。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2	・保護者からの聞き取り情報をも世に対応している。	・必要に応じて医師の指示書の提出を依頼し、より安全で統一した対応ができる体制づくりを検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12			